

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和5年3月定例会	
議案番号 議案名	議案第70号 令和5年度松戸市一般会計予算修正案 令和5年度松戸市一般会計予算修正議決した部分を除く原案
議員名・会派名等	立憲民主党
賛否態度	賛成
賛否など態度決定 に至った理由や 討論	<p>皆様こんにちは。立憲民主党の戸張とここです。</p> <p>ただいま議題となっております、議案第70号については、委員長報告の通り、修正案並びに修正され議決した部分を除く原案について賛成、議案第77号については反対の立場で討論を行います。</p> <p>令和5年度松戸市一般会計予算に対し、立憲民主党と政策実現フォーラム・社民の両会派で次の3事業について削除修正案を提出しました。</p> <p>1点目は、高齢者社会参加促進事業シルバー人材センター運営費補助金についてです。 新年度において松戸市から約4000万円補助金をシルバー人材センターに支出する予算です。この補助金には、理事長の人件費の10/10にあたる約602万円が盛り込まれています。予算委員会では、多くのメディアに報道された「理事長によるパワハラ疑惑によって8人の常勤職員のうち2人が退職、1人が休職に追い込まれた件」について、その報道が真実なのかどうか等を聞きました。副市長から理事長に注意をしたものの、パワハラ疑惑が真実なのかどうか、残念ながら明確にお答え頂けませんでした。パワハラ疑惑の真相解明なくして、理事長の人件費602万円の公金支出を認めてよいのか判断がつかないため、本予算について削除提案しました。</p> <p>2点目は、土地区画整理事業の土地区画整理関係業務の常磐線快速列車新松戸駅調査委託料についてです。 平成29年から複数回、総額約8千万円の事業費をかけて調査してきました。これまでの調査結果により、明らかにされたことは、工事費総額約232億円と施工期間約10年かかるということくらいです。232億円のうち松戸市が一体いくら負担することになるのか、用地買収に一体いくら必要になるのか、それらの財政負担を松戸市が支出することが可能なのか等を、松戸市は十</p>

分に説明しないまま、さらなる調査を行うことは市民の理解が得られません。よって、修正削除を提案しました。

3点目は美術文化関係事業のマイセン陶磁器関係経費、約7500万円です。マイセン陶磁器をご寄付頂いたことには心から感謝申し上げます。しかしながら、松戸市にゆかりのある作品でない作品を、展示や維持管理に多額の公費を支出して、展示することは市民の理解を得にくいのではと思います。またレストランスペースで展示することについても、食事場所の確保というニーズがあるなかで、市民の理解が得にくいと考えます。さらには、寄附を受けた際に、多額の公費を支出してまでも展示するかどうかという基準も曖昧であることも、問題だと思います。よって削除提案しました。

委員会の採決の結果、マイセン陶磁器関係経費のみが削除されることになりました。削除提案した事業を除いた原案には、「市民の命と暮らしを守る」新型コロナウイルス感染症対策費や、子育て支援等はじめ、市民生活に必要な予算が盛り込まれているため、総合的に判断し、賛成します。

予算審査を通して感じた意見や要望を申し上げます。

まず、財政についてです。

松戸市は「令和5年度松戸市当初予算案のポイント」という資料を公開しています。この資料の7ページに「基金の増加額と市債の増加額の差を、平成22年度決算と令和3年度決算を比較すると、93億円改善した」と記載があります。この記載だけみると、あたかも松戸市財政が改善されているように聞こえます。しかし、下水道事業会計の審議で、同期間において下水道事業会計として約223億円の借金残高が減ったことが明らかになりました。この下水道の借金残高の大幅減の要因は、市の施策として下水道整備を急ピッチに進めた時期に、財源として多額の借入をしていて、その償還のピークが、平成20年度頃から続いたためとのことでした。つまり、何か市が特別な取り組みをして借金を減らしたというのではなく、自然減によるものです。「当初予算案のポイント」には約93億円改善の要因として、職員管理職比率の減等の記載がありますが、管理職比率の減の効果は9000万円ほどに留まります。約223億円の効果があつた下水道事業を記載しないで、1億円未満の効果の管理職比率の減を記載したのか、疑問に思いました。次回の予算のポイントを作成する際には、改善額に大きな影響を及ぼした内訳をしっかりと記載するよう指摘します。

このように「当初予算案のポイント」には約93億円改善と記載され、あたかも松戸市財政が良くなっているように書かれていま

すが、その実態としては、今申し上げたように下水道事業会計の借金残高の大幅減によるものです。本郷谷市長が掲げる多額の借金を伴う大型ハコモノ事業を連発できるような財政的な余力が松戸市にあるのか、大きな疑問があると申し上げます。

3款・民生費では、生活保護決定・実施事業について防犯カメラシステムが導入されます。相談者、職員、どちらを守るためにも録音や録画が必要なのではないかと会派で提案していたので、人権を守るための対策がされることを評価いたします。

9款・消防費では、「市民の命を守る」救急活動向上業務について伺い、心拍再開率の向上を目指すためには救急救命士の特定行為だけでなく、早期の119番通報やバイスタンダーによるAEDの使用、心肺蘇生法の実施が必要であることから今後も救命講習会やSNSを通じて市民の皆さまに広報していくと御答弁いただきました。

10款・教育費では、学校給食費の無償化について伺いました。今回、無償化の恩恵を受けられるのは公立学校在籍者に限定されます。私学の小中学校在籍者や、フリースクールに通う子どもや不登校の児童生徒等、どのご家庭の子どもに対しても恩恵が行きわたるよう、給付の検討を強く要望いたします。また、食物アレルギーを理由とした弁当持参者に対しても、給付を行うよう要望します。

続いて、議案第77号令和5年度松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計予算についてです。市は仮換地指定を令和5年度に行うとしています。仮換地指定は従前の個人の土地を、その個人が望んでいなくても、マンションの床などに交換することを半ば強制的に決めてしまう、重大な手続きです。そこで、委員会質疑において、すべての地権者から合意が得られない場合には仮換地指定をしないかどうかの議論がありましたが、残念ながら、市からの明確な答弁はありませんでした。すべての地権者から合意が得られない場合には、仮換地指定をすべきではありません。以上のことから、本特別会計予算に反対します。

なお議案第71号から76号、78号から81号については賛成したことを申し添えます。

以上、会派を代表しての討論とさせていただきます。皆さまの満場のご賛同をよろしくお願いいたします。